

令和8年8月17日

岩手県知事
達増拓也様

要望書

金ヶ崎町長 高橋文浩

金ヶ崎町議会議長 伊藤雅章

令和 8 年度岩手県と金ケ崎町の政策協議に係る要望項目一覧

(要望件数：12 件 継続 10 件、新規 2 件)

N0	重点	広域	要望項目	区分	ページ数
1	○		一般国道 4 号の 4 車線拡幅整備について	継続	1 ～ 4
2	○		北上川流域における自動車・半導体産業に対する集中的投資について	継続	5 ～ 7
3	○	○	地域医療体制の充実について	継続	8 ～ 9
4	○		農地の基盤整備事業実施の加速化及び渇水対策について	継続	10
5	○		ツキノワグマの被害対策について	新規	11
6			河川維持管理について	新規	12
7		○	(仮称) 新金ケ崎大橋の新設をはじめとした「北上金ケ崎パシフィックルート」の整備について	継続	13～15
8		○	東北横断自動車道釜石秋田線北上 JCT 江刺田瀬 IC 間直線化整備について	継続	16
9		○	JR 東北本線の利便性向上について	継続	17
10		○	県南地域における新たな工業高校の設置について	継続	18
11			一般県道久田笹長根線、胆沢金ケ崎線の歩道整備の促進について	継続	19～21
12			北上川右岸治水対策事業について	継続	22～23

1. 一般国道4号の4車線拡幅整備について（継続）【重点要望】

要 旨

一般国道4号金ケ崎拡幅、水沢金ケ崎道路の事業促進に向けた国への働きかけについて、特段のご高配をお願い申し上げます。

要望内容

一般国道4号金ケ崎区間の4車線拡幅整備につきまして、平成29年度事業化となり、令和元年度から用地買収に着手し、精力的に事業を推進いただいておりますことに深く感謝申し上げます。また、水沢金ケ崎道路が令和6年度に事業化されるなど、更なる事業の進捗を期待しております。

岩手中部（金ケ崎）工業団地は、従来からの自動車・半導体・医療品等の工場が立地しているほか、関連企業などの進出に備えた岩手中部工業団地南エリア開発も進めております。また、町内の国道4号沿線には宿泊施設、物流倉庫が進出し、新たな商業施設の建設も進んでおります。しかしながら、町内における国道4号の2車線区間では、慢性的な交通渋滞、特に冬期における降雪による交通障害が発生しており、物流のボトルネックとなっております。

以上のことから、次の事項について、国へ働きかけていただきますよう、要望いたします。

- 1 一般国道4号金ケ崎拡幅、水沢金ケ崎道路の事業促進を図ること。
- 2 国の公共事業関係費を、平成21年度以前の7～8兆円規模にまで回復させるべく大幅な増額を図るとともに、地域に必要な公共事業予算の安定的・持続的な確保を図ること。
- 3 昨今の地震・豪雨・豪雪などの災害状況等を踏まえると、国土強靱化施策の更なる加速化・深化を図る必要があることから、「第一次国土強靱化実施中期計画」で示された5か年でおおむね20兆円強の「強」の部分も含め、必要かつ十分な公共事業予算を確保し、危機管理投資による強い経済の実現の観点も踏まえ、通常の公共事業予算とは別枠で計上すること。資材価格・人件費高騰等の影響を十分に踏まえ、計画的かつ長期安定的な道路整備・管理が進められるよう、新たな財源の創設等により、道路関係予算については、所要額を満額確保すること。また、激甚化・頻発化する大規模自然災害時の脅威・危機に即応するための、地方整備局、河川国道事務所の体制の更なる充実・強化や災害対応に必要な資機材の更なる確保に取り組むこと。

一般国道4号金ヶ崎拡幅・水沢金ヶ崎道路事業促進要望区間 位置図



自動車関連企業の進出を支援する国道4号

- 東日本大震災後、自動車関連企業では部品供給を行う企業の進出・設備投資拡大を通じて、東北全体の復興に貢献
- 岩手県は自動車関連の製造品出荷額が増加しており、対象地区周辺(県南地域※)は県内生産の9割以上を占める

* 県南地域: 花巻市、北上市、金ヶ崎町、奥州市、平泉町、一関市、花巻市

▼自動車関連の部品・完成車の輸送



■ 県南地域における企業の進出・設備投資が加速

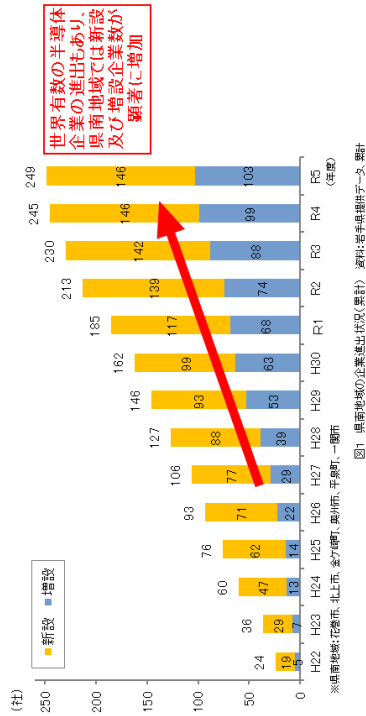
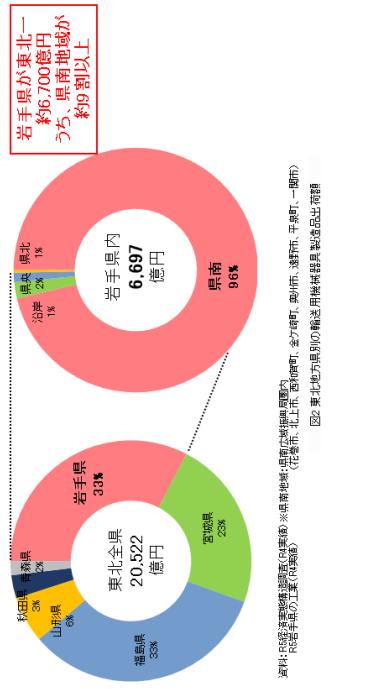


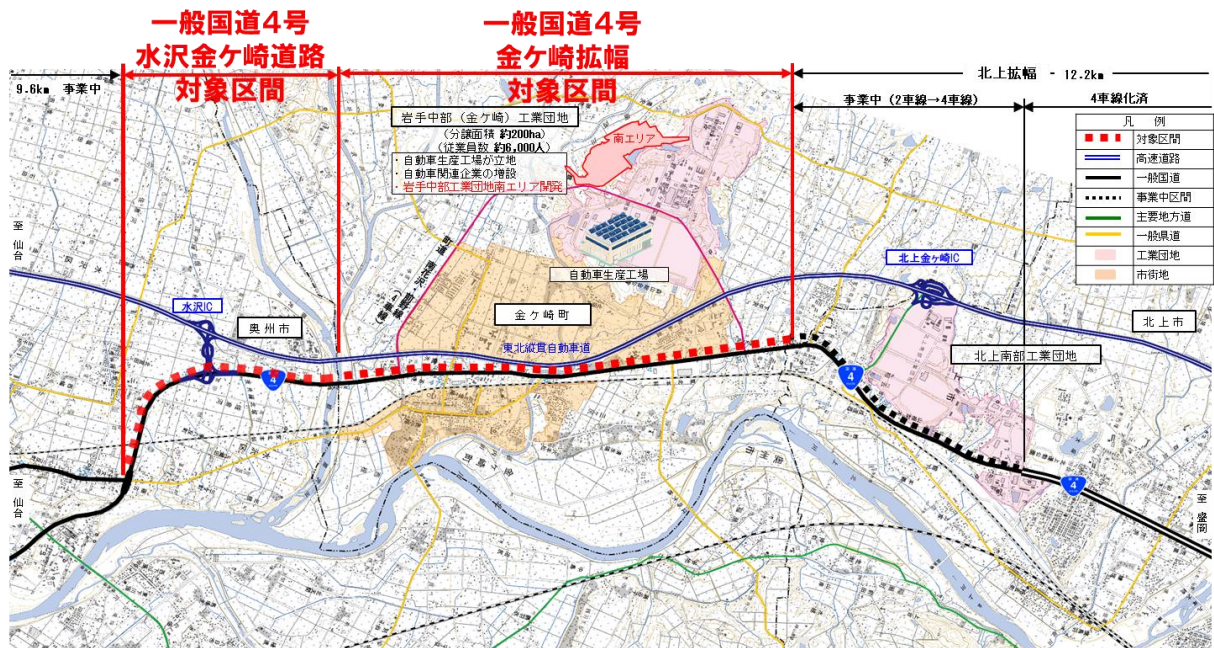
図1 国土領域の企業進出状況(国計)

自動車関連の製品出荷額の高いシェア



資料：R6経済政策調査会(R4東京) ※県内各地別：国分市松田町島原内
R8岩手県の工業(R4製造)
(花巻市、北上市、西和賀町、金谷町、奥州市、遠野市、平泉町、一関市)

図2 東北地方別の輸送用機器器具製造品出荷額



2. 北上川流域における自動車・半導体産業に対する集中的投資について（継続）

【重点要望】

要 旨

北上川流域における自動車・半導体産業振興への集中的投資について、特段のご高配をお願い申し上げます。

要望内容

北上川流域は、岩手県における自動車産業の重要拠点として位置付けられており、トヨタ自動車東日本㈱岩手工場では、「アクア」「ヤリスクロス」など人気車種に加えレクサスの新型車種である「LBX」、更には令和7年5月から「カローラクロス」の生産が開始されております。また、㈱デンソー岩手など主要サプライヤーによる大型投資や関連する物流業の進出も着実に進み、本県経済をけん引しております。

また、近年、半導体産業においては、隣接市のキオクシア岩手㈱、東京エレクトロンテクノロジーソリューションズ㈱が大規模工場棟を建設したほか、関連企業の進出、設備投資が加速化していること、更には、今後もクルマの電子化・電動化に伴う半導体需要の急増が見込まれる中、投資意欲が特に旺盛な状況であります。

このような状況下、町が推進している大規模産業用地の確保に向けた岩手中部（金ケ崎）工業団地南エリア整備に当たり、地域の実情を踏まえた土地利用の調整を図りながら、用地造成及びこれに伴う排水処理設備等のインフラ整備に集中的に投資することが必要不可欠であると考えます。

重要物流道路にも指定された町道南花沢・前野線等は、岩手中部（金ケ崎）工業団地へのアクセス道路であり、大型車の交通量が多いほか、近隣市町からの通勤経路となっております。本県経済をけん引している自動車産業の重要拠点であることから、道路の維持補修が必要不可欠であり、その費用負担が課題となっております。

以上のことから、次の事項について国に対しての働きかけも含め要望いたします。

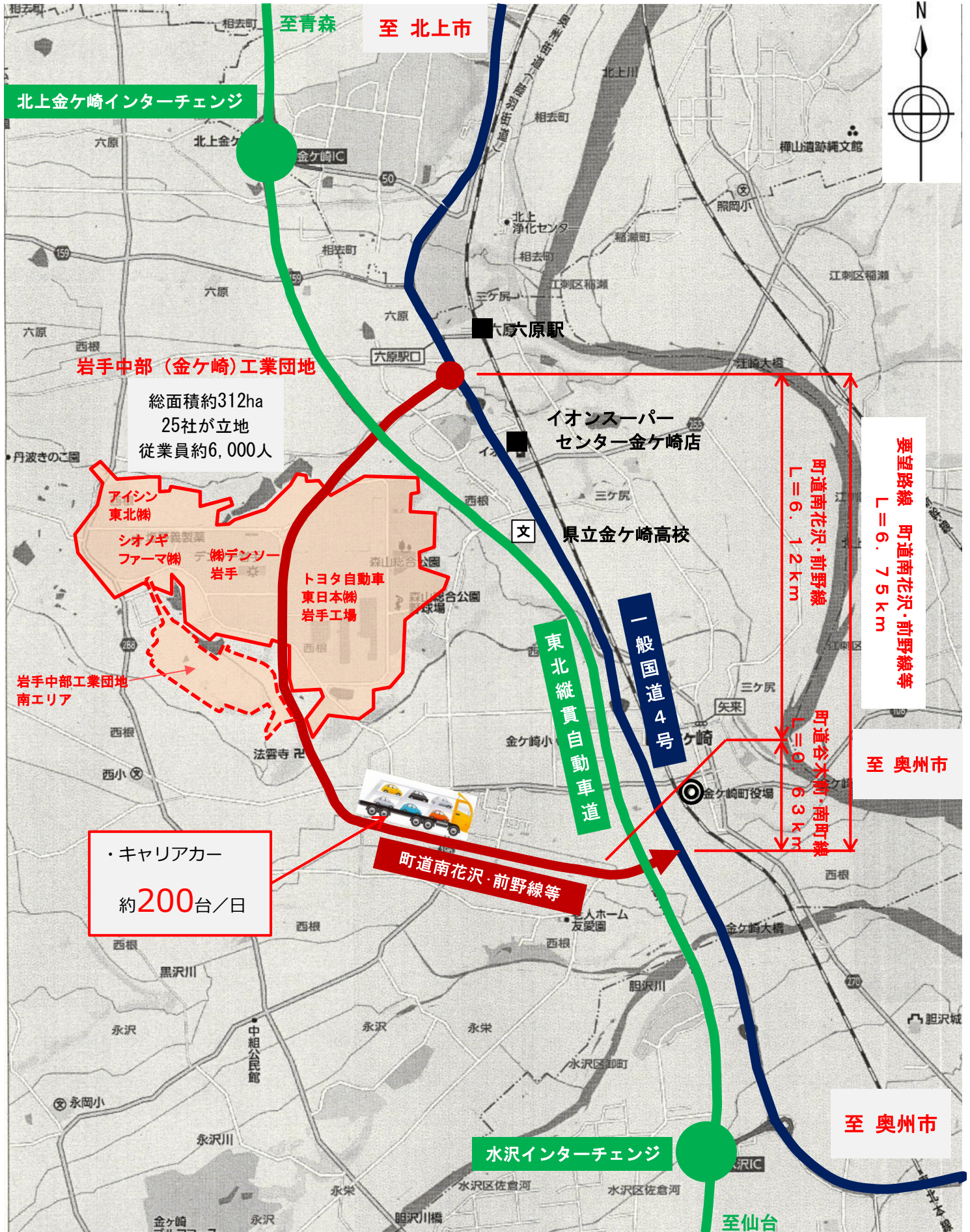
- 1 農地を含めた土地の利用については、地域の実情を踏まえた土地利用が促進されるよう配慮すること。
- 2 大規模産業用地造成及びこれに伴うインフラ整備並びに既存施設の修繕費用に対する補助、低利融資制度を創設すること。
- 3 重要物流道路に指定されている町道南花沢・前野線等の県道昇格及び昇格までの維持管理に係る支援を行うこと。

岩手中部工業団地南エリア 概要



※赤線で囲んだ区域が岩手中部工業団地南エリア

要望路線 町道南花沢・前野線等



3. 地域医療体制の充実について（継続）【重点事項】

要 旨

県南地域における周産期及び小児科医療体制の維持に対する支援について、特段のご高配をお願い申し上げます。

要望内容

岩手県保健医療計画において定められているとおり、周産期医療体制において各周産期医療機関は、妊娠のリスクに応じて医療機能を分担し、適切に提供できる体制を確保・維持することが必要であります。

県南地域における地域周産期母子医療センターである北上済生会病院では、リスクの高い妊産婦への対応、24 時間体制での周産期に関する救急医療対応、低出生体重児に対するNICU（新生児集中治療室）による 32 週以降の新生児を受入れるほか、著しく変動する需要に対して最大数を基準とした人員配置に努めております。

しかし、胆江保健医療圏域の周産期医療の現状としては、分娩取扱施設が無くなったことにより、妊婦は圏域外の地域周産期母子医療センターに通院せざるを得ない状況であり、妊婦の不安感や精神的、経済的負担がさらに増大しています。

今後、少子化に伴い分娩数の減少が想定され、必要となる医療体制が変化していく中で、妊産婦が安心・安全な周産期医療の提供を受けることができるよう医師等の人員を確実に確保・維持していくためには、医療機関の状況を勘案しながら、その役割と規模を広域的に検討する必要があるものと考えます。

さらに、胆江保健医療圏域の小児科については、小児科専門医の減少や高齢化などにより、従来の乳幼児健診を維持することが難しい状況となっており、平時の受診についても、圏域外の医療機関への通院を余儀なくされるなど保護者の負担が増しています。

加えて、令和 8 年 4 月からは県立胆沢病院の小児科常勤医師が不在となり入院の受入ができなくなったこともあり、当圏域の小児医療体制は危機的な状況となっています。

以上のことから、次の事項について要望いたします。

- 1 県南地域における地域周産期母子医療センターが十分機能を発揮できるよう医師の配置を含めた人員体制の確保及びセンター機能の維持のための支援を行うこと。
- 2 今後少子化が進む中、地域周産期母子医療センターの維持、充実に向け医療機関の役割と規模について検討すること。
- 3 胆江保健医療圏域の公立病院における小児科常勤医師の確保を図ること。

<参考> 出生医療機関別内訳（件数）

保健医療圏	分娩施設	R 5	R 6	R 7
胆江	1 診療所 ※R 3 分娩終了	—	—	—
	2 診療所 ※R 2 閉院・分娩終了	—	—	—
岩手中部	県立中部病院	24	9	13
	北上済生会病院	39	36	36
	診療所	8	10	10
両磐	県立磐井病院	6	2	5
	診療所	3	1	2
盛岡		7	2	3
宮古		—	—	—
気仙		—	1	—
釜石		—	—	—
久慈		—	—	—
二戸		—	1	—
県外		1	2	3
合計		88	64	72

資料：金ケ崎町子育て支援課

4. 農地の基盤整備事業実施の加速化及び渇水対策について（継続）【重点要望】

要 旨

岩手県の農業の持続的発展のため、農地の基盤整備事業の集中的推進及び事業期間の短縮並びに渇水対策について、特段のご高配をお願い申し上げます。

要望内容

現在金ケ崎町では、大森・鳥の海上地区（35.5ha）及び原・蟹沢地区（66.5ha）における農地の基盤整備事業が継続中であり、三ヶ尻地区（116.0ha）、上永沢地区（168.0ha）及び永栄地区（286.0ha）の3地区で計画調査事業が進められています。

金ケ崎町の農業振興地域内の水田は約 3,297ha、基盤整備面積は上記の5地区を含め約 1,619ha となり、未整備面積は約 1,678ha となります。

計画調査事業が行われている3地区の事業完了予定は、三ヶ尻地区が令和 19 年度、ほかの2地区は令和 19 年度以降となっており、地域の農業者が将来を展望することが難しくなっていることから、担い手の確保、営農計画の策定などにおいて支障が出始めています。

事業採択を改良区単位で行うという運用方法では、当町のように市町を跨いだ改良区が2つもある自治体は、他市の事業採択状況にも左右され非常に不利な状況となっております。

また、永沢地域では、農業用水の水源としてキッツ川及び永沢川を利用していますが、上流にはダム等の貯水機能を持つ施設がないことから、6月から8月にかけては少雨により河川の水が減少し、農業用水の確保に大変苦慮している状況が毎年繰り返されています。

以上のことから、次の事項について要望いたします。

- 1 岩手県として農地の基盤整備事業に対する集中投資期間を定め、特化した予算措置を行い、迅速に整備を進めること。
- 2 改良区の管轄が複数の市町村に跨る場合は、市町村単位での複数事業採択を行うこと。
- 3 農業用水の不足解消に向け、必要となる水量の調査及び新たな水源となる施設（防災ダム、砂防ダム等）の整備を進めるための調査に係る経費に対する財政的な支援を行うこと。
- 4 既存のため池の貯水容量を回復させる浚渫や堤防の改修工事等に対する財政的な支援の拡大を進めること。

5. ツキノワグマの被害対策について（新規）【重点要望】

要 旨

住民の人命確保及び地域農業の維持に向け、ツキノワグマの広域的な個体数管理の強化及び強力な支援措置について、特段のご高配をお願い申し上げます。

要望内容

近年、当町においては、ツキノワグマの目撃情報が過去最多を記録するなど、従前の生息域を越えて人里や市街地、通学路への出没が常態化しております。これにより住民の安全な生活が脅かされるだけでなく、農業への被害も深刻を極めており、地域農業の維持において極めて重大な局面を迎えています。

現場を預かる基礎自治体として、住民への注意喚起や電気柵の設置、猟友会と連携したパトロール等、懸命の防除・捕獲に努めておりますが、広域にわたり移動するツキノワグマの生態に対し、一自治体単独での対応には限界があります。

『現状と課題』

- ◆ツキノワグマの個体数の過剰な増加と生息域の拡大による農業被害が深刻化していると同時に、人的被害のリスクも高まっております。
- ◆捕獲活動を担う猟友会等の高齢化が進んでいる状況となり、捕獲活動を担う者の確保が極めて困難な状況に直面しております。
- ◆当町において、住民の自己防衛及び水際対策を促進するため、電気柵の購入・設置費用の補助を実施しておりますが、出没の長期化・広域化に伴い申請件数が増加し、町の財政負担が増大している状況となっております。
- ◆ツキノワグマが市街地周辺に出没した際、人命最優先の観点から「緊急銃猟」の実施を検討しますが、現在、岩手県内に麻酔銃の発砲資格者がほとんど存在しないため、迅速に対応することが困難な状況にあります。

以上のことから、住民の生命・財産を守り、安心して暮らせる地域社会を維持するため、次の事項について要望いたします。

- 1 県主導によるツキノワグマの生息数調査を行うとともに、出没多発地域における集中捕獲を実施すること。
- 2 捕獲担い手の育成及び確保に向けた広域的支援を実施すること。
- 3 市町村が行うツキノワグマ対策事業に対し、県独自の財政補填や支援を行うこと。
- 4 県主導による麻酔銃捕獲従事者の養成及び確保を行うこと。

6. 河川維持管理について（新規）

要 旨

県管理河川における繁殖樹木の伐採等の維持管理の充実について、特段のご高配をお願い申し上げます。

要望内容

県管理河川の一級河川胆沢川、宿内川、黒沢川、永沢川、渋川において、河道内の樹木が著しく繁殖しております。樹木の繁殖により河川の流下能力が低下することにより、洪水時の流水阻害の原因となることが懸念されます。また、河道内の草や樹木は熊の隠れ場所となり人里の侵入経路として利用されていることが推測されます。

以上のことから、次の事項について要望いたします。

- 1 県管理河川の樹木の伐採及び撤去を行うこと並びに県管理河川において浚渫事業を推進すること。

7. (仮称)新金ケ崎大橋の新設をはじめとした「北上金ケ崎パシフィックルート」の整備について(継続)

要 旨

(仮称)新金ケ崎大橋の新設をはじめとした「北上金ケ崎パシフィックルート」の整備について、特段のご高配をお願い申し上げます。

要望内容

奥州市江刺と金ケ崎町を結ぶ金ケ崎橋は、地域に密着した生活路線である県道江刺金ケ崎線のうち北上川に架かる橋梁であり、近年、両市町や北上南部工業団地への自動車関連企業等の立地が進んでいることから、産業道路としても重要な機能を持っております。当該路線は、岩手中部(金ケ崎)工業団地、江刺中核工業団地、北上南部工業団地に関連する産業及び物流の路線として、金ケ崎町と奥州市江刺、北上市と釜石港及び大船渡港を結ぶ産業振興・物流支援の重要道路でもあります。

しかし、金ケ崎橋から県道沿い一帯は、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されていることから、拡幅等の整備が制約され、その東に位置する金ケ崎橋は、幅員が狭く歩道敷設も構造的にできない状況で、歩行者や自転車等の通行が常に危険と隣り合わせであり、大型車両等の通行ができない状況にあります。また、産業集積の進行に伴い通行車両が増加し、朝夕の通勤時間帯には交通渋滞が発生しております。

(仮称)「新金ケ崎大橋」の新設は、産業振興に寄与し、企業誘致を進める上でも地域の安全・安心を確保する上でも重要であり、将来の県南部の産業経済発展のために必要な道路になると考えております。

令和4年度に北上、奥州、金ケ崎の2市1町による「北上金ケ崎パシフィックルート整備促進期成同盟会」を設立し、令和5年度には釜石市及び大船渡市を加え4市1町で要望活動を行っております。

以上のことから、次の事項について要望いたします。

- 1 地域住民の安全性や工業団地間を結ぶ連結ルートの確保のため、奥州市江刺と金ケ崎町を結ぶ一般県道江刺金ケ崎線金ケ崎橋「(仮称)新金ケ崎大橋」の整備促進を図ること。
- 2 県道255号から国道456号を經由し江刺田瀬ICに至るルートにおいて、所要時間短縮のためのバイパス整備や狭小区間の拡幅等を行い、釜石港及び大船渡港等の太平洋側への物流を支える産業拠点道路としての機能向上を図ること。

(仮称) 新金ヶ崎大橋 構想図



現在の状況



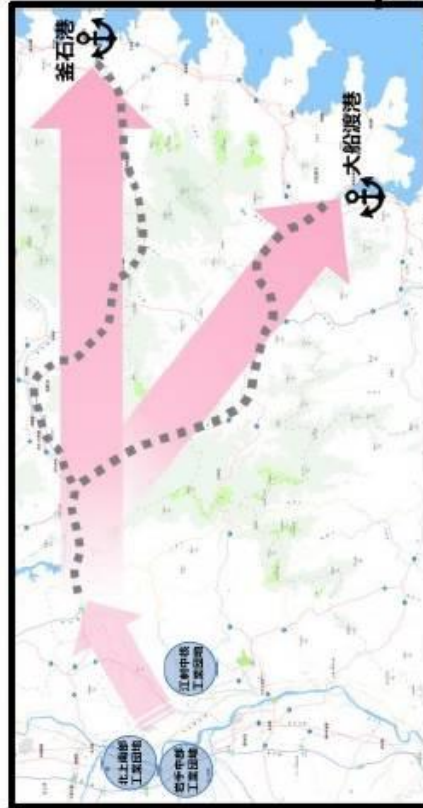
金ヶ崎橋付近
歩道がないことから危険な状況



岩手銀行金ヶ崎支店前交差点付近
道路幅員が狭い状況

北上金ヶ崎パシフィックルート概要

北上金ヶ崎パシフィックルートの概要



- 奥州市江刺と金ヶ崎町を結ぶ
(仮称) 新金ヶ崎大橋の新設
- 国道4号-江崎大橋-県道255号-国道456号
-国道107号のルートの整備促進

釜石港・大船渡港へのアクセス、各工業団地間の
連絡を改善

⇒ 地域企業の安定輸送を支援
地域住民の安全性の向上



8. 東北横断自動車道釜石秋田線北上 JCT 江刺田瀬 IC 間直線化整備について（継続）

要 旨

東北横断自動車道釜石秋田線北上JCT江刺田瀬IC間直線化整備の事業化に向けて、岩手県新広域道路交通ビジョン及び岩手県新広域道路交通計画（広域道路ネットワーク計画）に位置付けるよう、特段のご高配をお願い申し上げます。

要望内容

東北横断自動車道釜石秋田線は、平成31年3月に全線開通し、太平洋側と日本海側の人流、物流を担う社会基盤として重要な役割を担っております。近年では、秋田自動車道の大曲IC－北上西IC間において4車線化が順次事業化されたことで広域利用のニーズが一層高まっており、横軸強化として路線の重要性がさらに高まっております。

しかしながら、当該路線は北上JCTから花巻JCTまで大きく迂回するルートのため、秋田及び仙台方面から釜石方面に向かう際に移動時間のロスが生じており、釜石港や大船渡港発着のコンテナ輸送や北上市への救急搬送の大きな課題となっております。

北上JCTから江刺田瀬IC間を高規格幹線道路として直線的に接続することで、走行距離が大きく短縮され、円滑で安全な物流ルートの確保や広域観光の拡大などの効果が期待できます。

令和4年度には、北上、大船渡、遠野、釜石、奥州、西和賀、金ケ崎、住田並びに、秋田県の秋田、横手、大仙の11市町による「東北横断自動車道釜石秋田線北上JCT江刺田瀬IC間整備促進期成同盟会」を設立しております。

以上のことから、次の事項について要望いたします。

- 1 東北横断自動車道釜石秋田線北上 JCT 江刺田瀬 IC 間直線化整備について、岩手県新広域道路交通ビジョン及び岩手県新広域道路交通計画（広域道路ネットワーク）に位置付けること。

9. JR 東北本線の利便性向上について（継続）

要 旨

JR 東北本線利用者の利便性が向上するよう JR 東日本㈱へ働きかけていただきますよう、特段のご高配をお願い申し上げます。

要望内容

JR 東北本線は、住民の広域移動の貴重な交通手段となっていますが、その運転時刻は、朝の時間帯を除きおおむね 1 時間以上間隔が空いています。全体として盛岡駅―北上駅間の運転間隔と比べると盛岡駅―金ケ崎駅間の運転間隔が長く移動利用に不便な状況が続いています。

また、金ケ崎駅及び六原駅が交通系 IC カード「Suica」の利用可能エリアに含まれていないため、両駅を発着とする JR 東北本線の利用者にとって不便な状況となっております。

令和 6 年 3 月 31 日に岩手県交通㈱が運行する広域路線が廃止となり、広域移動のための JR 東北本線の重要性が増しています。

なお、町では六原駅利用者の利便性向上のため、駅前駐車場を整備し、現在は駅周辺の道路改良に取り組んでおります。

以上のことから、次の事項について、JR 東日本㈱へ働きかけていただきますよう要望いたします。

- 1 JR東北本線利用者の利便性向上のため、北上駅発着の普通列車を一ノ関駅発着に延伸すること。
- 2 交通系ICカード「Suica」について、JR東北本線盛岡駅から一ノ関駅までの未導入駅に早期導入するとともに、盛岡エリア・仙台エリアにまたがる区間乗車において、相互利用できるよう整備すること。
- 3 無人駅においても駅利用者が安心・安全に待合できるような環境に整備すること。

10. 県南地域における新たな工業高校の設置について（継続）

要 旨

県南地域における新たな工業高校の設置場所や学科構成などをご検討いただくことについて、特段のご高配をお願い申し上げます。

要望内容

北上川流域は、岩手県における自動車産業や半導体産業の重要拠点として位置づけられており、多くのものづくり人材が活躍しております。自動車や半導体産業等が発展していくためには、地場産業を担う優秀な人材を将来にわたって育成していくことが課題となっております。

「第3期県立高等学校再編計画」においては、前計画の内容を継承し、水沢工業高校と一関工業高校の統合により、県南地域へ新たな工業高校を新設・設置することが示されております。

胆江地区は、ものづくり産業をはじめとする多様な産業が集積する地域であり、持続的な発展には次代を担う高度な専門人材の育成が不可欠であります。県南地域に新設される工業高校が、地域の産業構造やニーズを的確に反映し、未来の地域産業を牽引する人材育成の拠点として、地域産業の持続的な発展に寄与することを期待するところであります。

以上のことから、次の事項について要望いたします。

- 1 新設校の設置については、通学の利便性の良い場所へ設置すること。
- 2 学科構成等については、産業人材のニーズに幅広く対応できる構成とし、最先端の技術や知識を習得できる高度な専門教育が受けられるよう、万全の指導体制及び実習環境を構築すること。

11. 一般県道^{きゅうでんさきながね}久田笹長根線、胆沢金ヶ崎線の歩道整備の促進について（継続）

要 旨

歩行者の安全確保のため、一般県道^{きゅうでんさきながね}久田笹長根線、胆沢金ヶ崎線の歩道整備について、特段のご高配をお願い申し上げます。

要望内容

一般国道4号から北上市和賀に至る一般県道^{きゅうでんさきながね}久田笹長根線は、千貫石温泉、北上市西部の^{げとう}夏油温泉、^{げとう}夏油高原スキー場をはじめとする豊かな観光資源へのアクセスとして、また岩手県立農業大学校、岩手県立花きセンター及び東北横断自動車道（釜石秋田線）へのアプローチとして地域に密着した路線です。

また、一般国道4号から一般国道397号線に至る一般県道胆沢金ヶ崎線は、沿線に永岡小学校、金ヶ崎小学校の通学路として、また沿線町民の通勤、通学等の日常の生活に必要な不可欠な路線です。

自動車産業等の振興に伴い、北上金ヶ崎 IC や一般県道前沢北上線から岩手中部（金ヶ崎）工業団地等に向かう通勤車両及び物流の大型車両の交通量が急増しております。

このような状況の中、児童・生徒が関係する事故があったことや大型車の交通量が増加しており、地元住民や保護者などから児童・生徒、高齢者等の歩行者の安全確保を強く求められております。

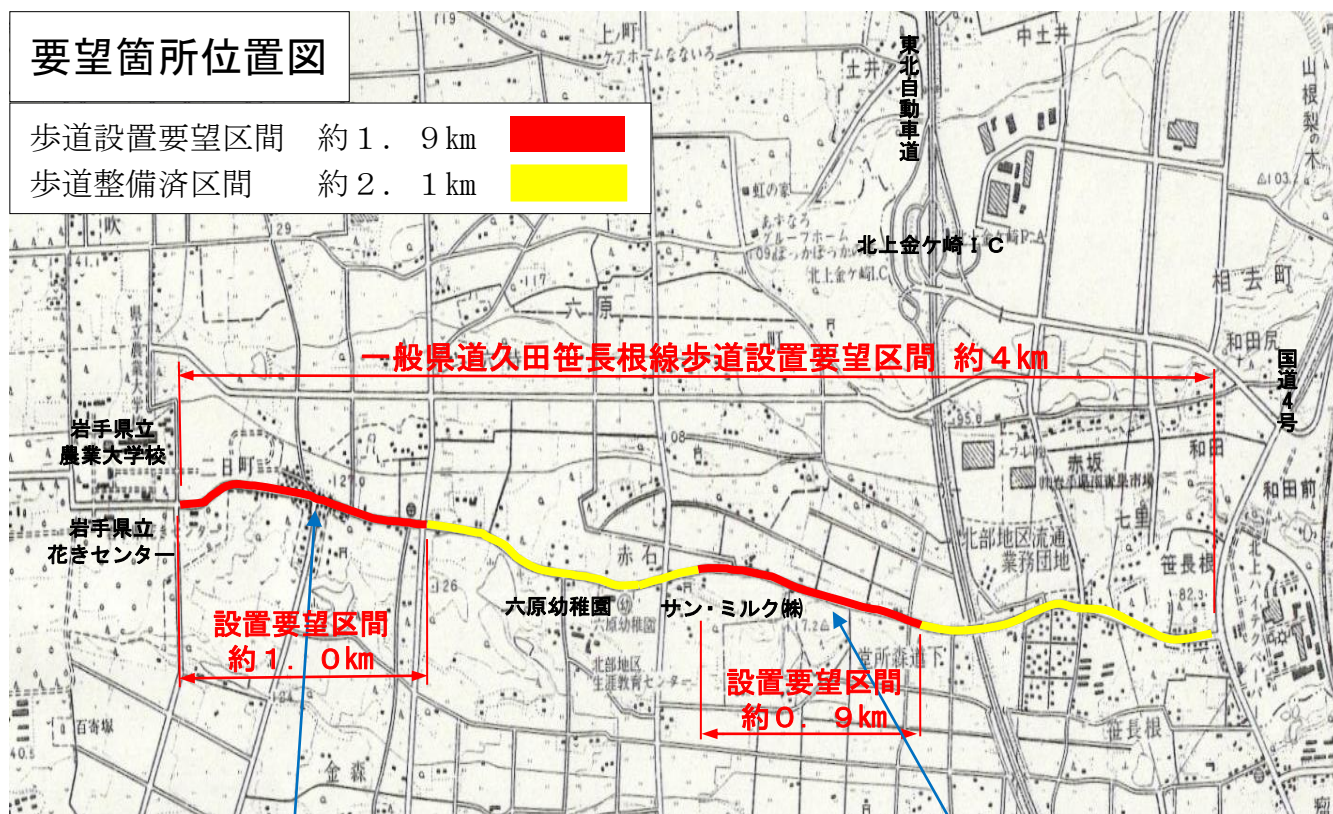
以上のことから、次の事項について要望いたします。

- 1 一般県道久田笹長根線及び胆沢金ヶ崎線の歩道整備に係る事業を促進すること。
- 2 一般県道久田笹長根線及び胆沢金ヶ崎線の歩道整備に係る未整備区間を解消すること。

要望箇所位置図

歩道設置要望区間 約 1.9 km

歩道整備済区間 約 2.1 km



県道前沢北上線の西側付近
(センターラインが引けない区間があり車の
すれ違いが困難であり歩行者の通行は危険)



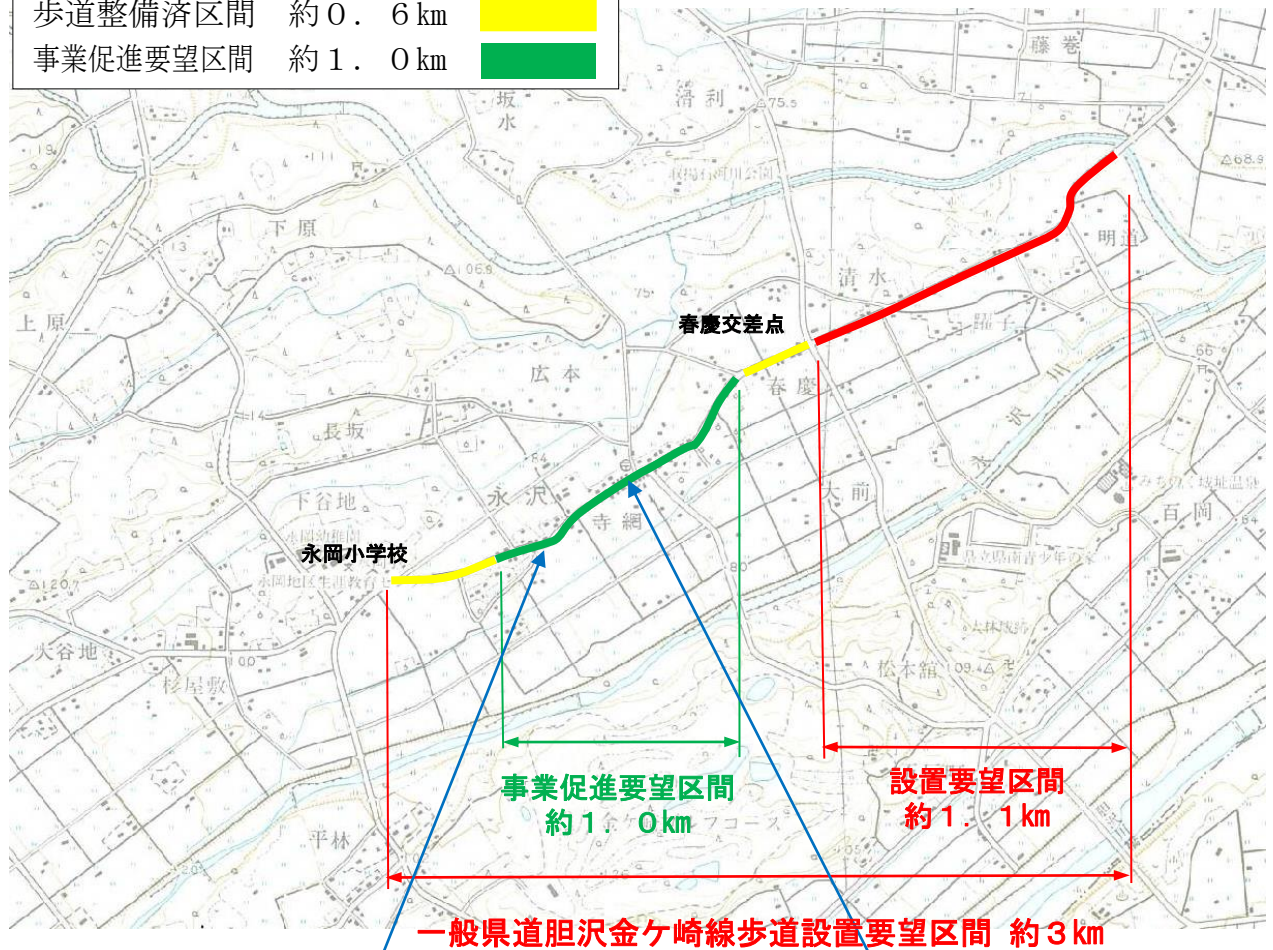
サン・ミルク株式会社入口付近
(歩道がなく非常に危険)



六原幼稚園付近
(工事完成箇所)

要望箇所位置図

歩道未整備区間	約 1. 1 km	
歩道整備済区間	約 0. 6 km	
事業促進要望区間	約 1. 0 km	



急なカーブのため見通しが効かない
ため歩行者の通行が困難



一部幅員が狭くセンターラインが引
けない区間があり車のすれ違いが困
難であり歩行者の通行は危険

12. 北上川右岸治水対策事業について（継続）

要 旨

北上川右岸の無堤防区間解消の早期実施について、国へ働きかけていただきますよう特段のご高配をお願い申し上げます。

要望内容

本要望箇所は、平成 23 年度に堤防の補強工事が完成した江崎大橋南側から一級河川宿内川合流地点までの右岸下流約 1,800 メートルのうち、かさ上げが必要な区間が約 700 メートルであり、更に下流約 1,100 メートルが無堤防区間であることから、平成 14 年及び平成 19 年の大雨・台風により、田畑に冠水被害を受けたところです。

以上のことから、次の事項について、国へ働きかけていただきますよう、要望いたします。

- 1 かさ上げ区間約 700 メートル及び無堤防区間約 1,100 メートルの解消工事を早期に実施すること。

要望箇所位置図

